

1. 件名：1号機RCW熱交換器(C)入口配管内包水の処理に関する面談

2. 日時：令和5年4月6日(木) 15:00~15:30

3. 場所：原子力規制庁6階会議室

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

大辻室長補佐、安部室長補佐、横山係長、石井係長、高橋係員

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

プロジェクトマネジメント室 1名(テレビ会議システムによる出席)

福島第一原子力発電所 3名(テレビ会議システムによる出席)

5. 要旨

- 原子力規制庁は、東京電力ホールディングス株式会社(以下「東京電力」という。)から、1号機RCW熱交換器(C)本体の内包水サンプリングのため、RCW熱交換器(C)入口配管の内包水(約100L)の処理方法についての説明を受けた。
- 東京電力は、内包水をRO処理水で希釈し分析を実施したところ、検出下限値が高い核種について建屋滞留水(HTI)と同程度の検出下限値未満ということが確認でき、当該希釈水を1号機R/Bへ移送しても水処理設備への影響は低いことから、今後1号機R/Bへ排水する予定であること、熱交換器本体の水抜き作業については、本体の内包水のサンプリング結果を踏まえ、作業手順を検討する旨の説明があった。
- 原子力規制庁は上記説明を確認した。

6. 資料

- 1号機RCW熱交換器(C)入口配管内包水(約100L)の処理(水抜き・移送)について